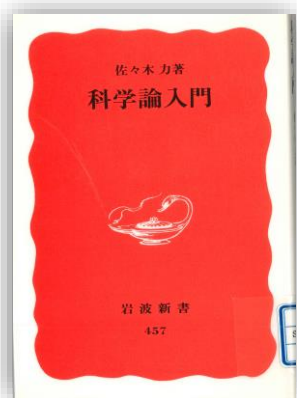


## 推薦図書

『科学論入門』  
佐々木 力 著  
岩波書店

推薦教員  
共通領域部教員  
岩瀬 弘和 教授

この本は科学史・科学哲学、特に数学史を専門とする佐々木力先生が、1992年から日本看護協会看護研修学校で「科学論」という題目で講義してきた内容をもとに執筆され、1996年に刊行されたものです。はしがきには「一般市民向けに平易に、しかし、内容の程度を落とさずに執筆することを心がけた」とありますが、科学史に関してはとても高度な内容と思われれます。刊行から20年以上が経っているものの色褪せた内容ではなく、これまでにブラジル-ポルトガル語版や中国語版も出版されているようです。全体としては五章で構成され220ページの中に古代ギリシャ時代の科学から現代の脳死、原子力発電所、環境問題まで科学と技術の歴史が書かれています。すべてを読まなくても、まずは第一章「近代日本の科学技術の性格」だけでも読んでみてください。そこには「科学」の語源から説明が始まり、現代の科学技術につながるこれまでの歴史が詳しく説明されています。これらを知ることだけでも「科学技術」に対する興味が湧いてくることでしょう（それを期待しています）。第二章以降は、例えば前近代の技術や科学的テクノロジーの発展などに興味があれば第三章「技術とはなにか、それは科学とどう関係するか？」を、また現代の具体的な科学技術に関する問題について関心があれば第五章「転換期の現代科学技術」を読むだけでもよいでしょう。そして本書で得た知識や興味から、さらに幅を広げて自然科学に関する多くの教養を身につけて欲しいと思います。



教員推薦図書架に展示中です。



夏季長期貸出実施中!!ぜひ、ご利用下さい。  
書籍購入希望も受付けています。